

第2次安城市食料・農業・交流基本計画の総括

資料 1

評価区分	指標名	総括	指標数	割合(%)
A	・商品、レシピ等の開発数	効果的に事業を進め目標値を達成することができた。次期計画では社会情勢や現状、課題を踏まえた上で施策の見直しを行い、現行目標値の更新や新たな指標の設定を検討する。	9	53%
	・カラダいきいき栄養相談の開催回数			
	・農業法人数			
	・認定新規就農者の新規認定者数			
	・経営体育成基盤整備事業地区数			
	・農地利用集積率			
	・「甘ひびき」の出荷量			
	・鎮圧ローラー等にて整地された直播耕作地の面積			
	・ウェブサイト等からの情報発信回数			
B	・食料自給率	現行はカロリーベースで算出しているが、農林水産省より公表される市町村別データが年々縮小しており、算出が難しくなっているため、適切に算出できる目標を設定することを検討する。	2	12%
	・認定農業者の新規認定者数	認定農業者は本市農業の重要な担い手であり、次期計画においても引き続き育成と支援策を講じるとともに、指標の設定を検討する。		
C	・食品の安全性に係るアンケートにおいて、安全だと感じる割合	消費者が不安と感じる理由を精査し、次期計画では地元農産物への信頼度を高めるための施策や指標を検討する。	6	35%
	・農業経営体の支援件数	経営体への支援策を引き続き講じるとともに、指標の対象を検討する。		
	・農用地域での活動実施組織数	国・県は組織の広域化を推進しており、未実施地域の取り込みなど、活動への支援を含め指標の設定について検討する。		
	・農業体験等の開催回数	新型コロナウイルス感染症の影響により中止や規模の縮小があり目標を達成できなかった。次期計画では新しい日常におけるイベントや講座の在り方を踏まえながら施策や指標を検討する。		
	・産直市等の開催回数			
	・ふれあい田んぼアートの申込者数			

第3次安城市食育推進計画の総括

評価区分	指標名	総括	指標数	割合(%)
A	・朝食の欠食割合（20歳代男性）	効果的に事業を進め目標値を達成することができた。 次期計画では社会情勢や現状、課題を踏まえた上で施策の見直しを行い、現行目標値の更新や新たな指標の設定を検討する。	8	61%
	・朝食の欠食割合（20歳代女性）			
	・栄養バランスに配慮した食生活を行っている人の割合			
	・食べ残しをしないように意識している人の割合			
	・地元農産物を意識して購入する人の割合（愛知県内産）			
	・食育に関心がある人の割合			
	・郷土料理に対する認知度			
	・食育推進団体による食育講座の参加者数			
B	・朝食の欠食割合（中学2年生）	家庭環境の影響も大きく数値に現れており、生徒・児童に対する食生活に関する啓発の他、保育園等の低年齢や保護者に向けた啓発を含め次期計画での施策や指標の設定を検討する。	4	31%
	・地元農産物を意識して購入する人の割合（安城市産）	市食堂で実施する地産地消イベントなども定着しており、着実に割合は増えている。今後も継続した取組を実施し、次期計画では現行目標値の更新又は新たな指標の設定を検討する。		
	・農作業や農業体験などを行ったことがある人の割合	新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったが、新しい日常における開催方法のありかたを踏まえ、次期計画での施策や指標を検討する。		
	・おうちでごはんの日（食育の日）の認知度	食育に関心がある人は多いにもかかわらず、認知度向上につなげることが出来なかった。次期計画では食に関する正しい知識や食の楽しみ、食への感謝を通じて地産地消とあわせた施策や指標を検討する。		
C	・朝食の欠食割合（小学5年生）	家庭環境の影響も大きく数値に現れており、生徒・児童に対する食生活に関する啓発の他、保育園等の低年齢や保護者に向けた啓発を含め次期計画での施策や指標の設定を検討する。	1	8%

## 第2次 安城市食料・農業・交流基本計画の進捗状況について

【基準年】 2015(平成27)年 【目標年】 2022年  
 【目標値達成状況】 A:達成済 B:未達成(経過順調:基準値を超えるが目標値未滿)  
 C:未達成(要改善:基準値及び目標値ともに下回った場合)

### 1 食料に関する施策における目標

#### (1) 食料の安全性の確保等

指標名	指標の説明	基準年		実績	目標値	目標値達成状況
		2015(H27)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	
食品の安全性に係るアンケートにおいて、安全だと感じる割合	市が毎年行うeモニターアンケートの中で、「食品の安全性について、どのように感じているか」という設問の「安全」と感じる回答の割合	13.4%	8.7%	7.8%	15.0%	C

#### (2) 地産地消の推進

指標名	指標の説明	基準年		実績	目標値	目標値達成状況
		2015(H27)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	
食料自給率	国の食料自給率に係るデータを参考に、市内の農産物生産量により算出した市独自の食料自給率(カロリーベース)	33.6%	35.3%	36.3%	36.4%	B
商品・レシピ等の開発数(累計)	安城市農畜産物特産品協議会にて産・学・官が連携しながら、地元農産物を使用した商品やレシピの開発を行った数	2	28	39	8	A

#### (3) 食育の推進

指標名	指標の説明	基準年		実績	目標値	目標値達成状況
		2015(H27)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	
農業体験等の開催回数	市内で活動を行う食育推進団体などが実施する「農業体験講座」と「食育講座」の開催回数	25回	19回	24回	30回	C
カラダいきいき栄養相談の開催回数	栄養バランスのとれた食事への改善や生活習慣改善の支援など、食生活に関する個別の相談を行った回数	10回	28回	32回	20回	A

### 2 農業に関する施策における目標

#### (1) 担い手の育成及び確保

指標名	指標の説明	基準年		実績	目標値	目標値達成状況
		2015(H27)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	
農業法人数	稲作をはじめとする土地利用型農業、施設園芸、畜産などの農業法人の数	8法人	12法人	12法人	10法人	A
認定新規就農者の新規認定者数(累計)	新たに農業を始める方で、「青年等就農計画」を市に提出し、その計画について認定を受けた新規就農者(認定新規就農者)の累計	2人	15人	16人	8人	A

#### (2) 農地の確保等

指標名	指標の説明	基準年		実績	目標値	目標値達成状況
		2015(H27)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	
経営体育成基盤整備事業地区数	農地の区画拡大、用水のパイプライン化等、良好な営農条件を備えるために実施されるほ場整備事業の実施地区数	5地区	7地区	7地区	6地区	A
農地利用集積率	「農地利用集積円滑化事業」及び「畑・樹園地利用促進制度」による利用権設定、農地中間管理事業による賃借権等の設定により認定農業者等に貸し付けられた農地面積の割合	56.9% ※	62.8%	64.5%	63%	A

※「農地利用集積率」の基準値は、2016(28)年度の実績値

指標名	指標の説明	基準年		実績		目標値	目標値達成状況
		2015(H27)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度		
「甘ひびき」の出荷量	市内の梨農家が品種改良し、平成22年(2010年)3月に品種登録された梨の新品種である「甘ひびき」の出荷量※	5,018玉	21,069玉	25,318玉	15,000玉	A	

※JAあいち中央出荷量

#### (4) 環境保全型農業の推進

指標名	指標の説明	2015(H27)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	目標値達成状況
鎮圧ローラー等にて整地された直播耕作地の面積	代かきを行わず、鎮圧ローラー等で整地が行われた直播耕作地の農地の面積	125ha	387ha	529ha	200ha	A

#### (5) 農業経営の安定

指標名	指標の説明	2015(H27)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	目標値達成状況
認定農業者の新規認定者数(累計)	意欲と能力のある農業者が自らの経営を計画的に改善するため、「農業経営改善計画」を市に提出し、その計画について認定を受けた農業者(認定農業者)の累計	13人	29人	30人	40人	B
農業経営体の支援件数	農業経営の改善や安定化に必要な借入資金の利子補給や農業機械等の導入のため、農業経営体に対し行った支援の件数	11件	7件	9件	15件	C

#### (6) 農村の総合的な振興

指標名	指標の説明	2015(H27)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	目標値達成状況
農用地域での活動実施組織数	農地等の多面的機能を維持・保全するため、多面的機能支払交付金の交付を受け活動する地元組織数	33組織	33組織	33組織	37組織	C

### 3 交流に関する施策における目標

#### (1) 交流の推進

指標名	指標の説明	2015(H27)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	目標値達成状況
ウェブサイト等からの情報発信回数	JA及び市のウェブサイトから発信した、安城の旬な農産物の情報及び特産品を使った食育イベント記事の掲載回数	13回	21回	22回	20回	A
産直市等の開催回数	農村生活アドバイザーによる「まちなか産直市」の他、食と農に関するイベントの開催回数	10回	6回	10回	12回	C

#### (2) 広域的な交流

指標名	指標の説明	2015(H27)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	目標値達成状況
ふれあい田んぼアートの申込者数	ふれあい田んぼアートのうち、一般参加が事前申込制となっているイベント(2018年度現在では「田植え」と「稲刈り」)の申込者の合計数	837人	0人	0人	900人	C



## 第3次 安城市食育推進計画の進捗状況について

【基準年】 2016(平成28)年 【目標年】 2022年  
 【目標値達成状況】 A:達成済 B:未達成(経過順調:基準値を超えるが目標値未満)  
 C:未達成(要改善:基準値及び目標値ともに下回った場合)

### 基本方針1 食を通じて健康になる

指標名	指標の説明	基準年		実績	目標値	目標値達成状況	
		2016(H28)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度		
朝食の欠食割合	小学5年生	「県の児童生徒の食生活調査」 (教育委員会)より	1.7%	3.1%	3.0%	1.0%以下	C
	中学2年生		4.7%	5.4%	2.8%	2.0%以下	B
	20歳代男性	市が毎年行うeモニターアンケートより	19.4%	0.0%	0.0%	17.0%以下	A
	20歳代女性		4.9%	6.1%	0.0%	4.0%以下	A
栄養バランスに配慮した食生活を送っている人の割合	市が毎年行うeモニターアンケートより	67.1%	88.3%	87.3%	70.0%以上	A	

### 基本方針2 食を大切にす

指標名	指標の説明	2016(H28)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	目標値達成状況
おうちでごはんの日(食育の日)の認知度	市が毎年行うeモニターアンケートより	7.2%	18.6%	11.9%	15.0%以上	B
食べ残しをしないように意識している人の割合		67.8%	80.4%	82.1%	77.0%以上	A

### 基本方針3 「農」ある暮らしを楽しむ

指標名	指標の説明	2016(H28)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	目標値達成状況
地元の農産物を意識して購入する人の割合	愛知県産を意識する人	23.5%	31.6%	31.0%	24.0%以上	A
	安城産を意識する人	21.8%	25.4%	24.8%	26.0%以上	B
農作業や農業体験などを行ったことがある人の割合	市が毎年行うeモニターアンケートより	54.5%	56.5%	55.0%	63.0%以上	B

### 基本方針4 食育を広める

指標名	指標の説明	2016(H28)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022年度	目標値達成状況
食育に関心がある人の割合	市が毎年行うeモニターアンケートより	73.6%	83.2%	84.1%	83.0%以上	A
郷土料理に対する認知度		21.7%	46.9%	44.4%	23.0%以上	A
食育推進団体による食育講座の参加者数	食育推進団体実績報告より	462人	400人	683人	600人	A